

龍ヶ崎市スポーツ推進計画の評価について

龍ヶ崎市スポーツ推進計画（計画期間：平成 22 年度～平成 29 年度）の達成状況把握のため、平成 28 年度に実施した「スポーツ推進計画策定に係る市民意識調査」の結果等を基に、同計画に掲げた数値目標と実績値を比較し、次の基準により評価を行いました。

◆評価基準

A	目標に達した
B	目標に達していないが改善傾向にある
C	目標達成は難しい

◆比較に用いる数値について

- ・ 前回値：前期基本計画（計画期間：平成 22 年度～平成 25 年度）の策定時の数値（平成 20 年度調査）
- ・ 現状値：後期基本計画（計画期間：平成 26 年度～平成 29 年度）の策定時の数値（平成 24 年度調査）
- ・ 実績値：龍ヶ崎市第 2 次スポーツ推進計画の策定時の数値（平成 28 年度調査）
- ・ 目標値：計画の最終年度（平成 29 年度）における目標値

◆評価結果

★目標 1：市内に少なくとも 1 つは総合型地域スポーツクラブを育成します。

指 標	前回値 (平成 20 年度)	現状値 (平成 24 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 29 年度)	達成 状況
総合型地域スポーツクラブの数	0	1 つ	1 つ	1 つ以上	A

【評価コメント】

平成 22 年に「NPO 法人クラブ・ドラゴンズ」が総合型地域スポーツクラブとして活動をスタートしており、現在も幅広い年代を対象に様々な運動・スポーツ教室等が展開されています。

しかしながら、市民意識調査の結果では、NPO 法人クラブ・ドラゴンズの認知度は上昇傾向にあるものの、25%（平成 28 年度）にとどまっていることから、クラブの認知度向上を図るとともに、より地域に根ざしたクラブとなるよう、運営・活動を支援していくことが必要となっています。

★目標 2：16 歳以上の市民のうち、65%（従前のスポーツ振興基本計画での目標値は 50%）が週 1 回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

指 標	前回値 (平成 20 年度)	現状値 (平成 24 年度)	実績値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 29 年度)	達成 状況
週 1 回以上運動やスポーツを行う人の割合	39%	43.2%	53.1%	65% (50%)	B

【評価コメント】

市民意識調査の結果では、週 1 回以上運動やスポーツを行う人の割合は 53.1%（平成 28 年度）

となっており、目標値の65%に達していませんが、その割合は増加しており、国における実績値42.5%（平成28年度）を上回るなど、改善傾向にあります。

しかしながら、20代から50代までの週1回以上のスポーツ実施率は、30%台半ばから40%台前半（平成28年度）となっており、仕事等でスポーツに費やす時間が取りにくくなっていると考えられます。

国の第2期スポーツ基本計画にも掲げられている目標値65%の達成に向けては、これら現役世代が運動やスポーツに親しむ習慣の普及のための環境整備や意識啓発が必要となっています。

★目標3：16歳以上の市民のうち、20%が市や各地域・町内会・PTAなどが主催するスポーツ行事に参加することを目指します。

指 標	前回値 (平成20年度)	現状値 (平成24年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	達成 状況
運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある人の割合	13.3%	10.2%	11.4%	20%	C

【評価コメント】

市民意識調査の結果では、これまでに運動やスポーツ活動に関わるボランティア活動をしたことがある人の割合は11.4%（平成28年度）となっており、前回値を下回っていることから、目標値20%の達成は難しい状況となっています。

これまで、運動やスポーツ活動に関わるイベント等の運営は、主に既存のスポーツ団体や流通経済大学などの連携により賄われてきたことから、市民のスポーツボランティア活動の広がりにはつながってこなかったものと考えられます。

しかしながら、市民意識調査の結果では、スポーツボランティア活動してみたいと考えている人の割合は25%（平成28年度）となっていることから、平成31年の茨城国体をスポーツボランティア普及の好機として、市民が様々な場面でスポーツボランティアとして活躍できる環境の整備が必要となっています。

★目標4：16歳以上の市民のうち、20%がスポーツクラブやチーム等の団体に加入できる環境づくりを目指します。

指 標	前回値 (平成20年度)	現状値 (平成24年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	達成 状況
スポーツクラブ等に加入している人の割合	15.4%	18.5%	17.6%	20%	B

【評価コメント】

市民意識調査の結果では、スポーツクラブやチーム等の団体に所属している人の割合は17.6%（平成28年度）となっており、目標値の20%には達していませんが、前回値より2.2ポイント上昇しており、改善傾向にあります。

クラブに所属しない理由としては、「活動の時間・回数が合わない」、「個人で活動をしたい」、「クラブ

の情報が無い」がそれぞれ3割前後を占めており、また、加入したいクラブとしては、「市内のクラブや同好会」が特に多く、4割弱を占めています。

これまでも市内のスポーツ競技団体等の情報については、市の広報誌やホームページを活用して提供してきましたが、目標値の20%の達成に向けては、今後も様々な媒体を通して分かりやすい情報発信に努めるとともに、それら団体の活動の充実に向けた支援が必要となっています。

★目標5：16歳以上の市民のうち、10%がスポーツを直接観戦することを目指します。

指 標	前回値 (平成20年度)	現状値 (平成24年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	達成 状況
スポーツを直接観戦する人の割合	8.7%	6.9%	8.8%	10%	B

【評価コメント】

市民意識調査の結果では、主なスポーツ観戦の仕方として、直接、試合会場で観戦するという人の割合は8.8%（平成28年度）で、前回値からは微増にとどまり、目標値には達していません。

しかしながら、市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある人の割合は32.1%（平成28年度）となっており、平成24年度の調査では29.6%であったことから、増加傾向にあります。

これまで本市では、たつのこフィールドにおいてJFL、関東大学サッカーリーグ戦、関東大学ラグビーリーグ戦などを開催し、また、たつのこスタジアムにおいて東京新大学野球連盟リーグ戦、高校野球の春季・秋季県南地区大会などを開催するなど、高いレベルのスポーツを見る機会を市民に提供してきました。

今後も、トップアスリートの集う茨城国体の開催に向けて着実に準備を進めるとともに、総合運動公園の充実した施設を生かして高いレベルのスポーツイベントの開催・誘致に努めるなど、市民の「みる」スポーツへの関心を高めるための取組が必要となっています。

★目標6：16歳以上の市民のうち、30%がスポーツ活動に関する情報提供に満足することを目指します。

指 標	前回値 (平成20年度)	現状値 (平成24年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	達成 状況
スポーツの情報提供に満足する人の割合	16.8%	14.6%	13.3%	30%	C

【評価コメント】

市民意識調査の結果では、市が行っている運動やスポーツ活動に関する情報提供について満足している人の割合は13.3%（平成28年度）となっており、前回値及び現状値を下回っていることから、目標値30%の達成は難しい状況となっています。

同調査結果では、もっと情報提供をしてほしいと考えている人は42.8%（平成28年度）となっており、より一層の情報提供が求められています。また、充実が必要な情報については、「健康体力づくりの情報」及び「スポーツイベントの情報」が共に約18%を占め、次いで「各種スポーツ教室の案内」が11.8%、「市内のクラブ・サークル活動の案内」が8.4%、「スポーツ施設の利用案内」が7.3%と

いう結果となっています。

これまでもスポーツに関する情報については、市の広報紙やホームページなどを活用して情報提供してきましたが、市民が知りたい情報を容易に入手できるような情報提供のあり方について、更なる検討が必要となっています。

★目標7：児童・生徒のうち、55%が体力テストで総合評価A又はBを目指します。

指 標	前回値 (平成20年度)	現状値 (平成24年度)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	達成 状況
体力テスト総合評価でA 又はBの児童・生徒の割合	52.0%	54.3%	54.3%	55%	B

【評価コメント】

平成28年度に実施した児童・生徒の体力テストにおいて、総合評価がA又はBの児童・生徒の割合は54.3%（平成28年度）となっており、目標値の55%には達していませんが、前回値より2.3ポイント上昇しており、改善傾向にあります。

本市ではこれまで、児童・生徒の体力・運動能力の向上に向け、流通経済大学生による体育授業サポート（龍・流連携事業）を実施するとともに、総合運動公園の充実したスポーツ施設を利用して、市小学校陸上記録会、市中学校総合体育大会、市中学校新人体育大会、プール学習を実施するなど、本市ならではの取組を実施してきました。

少子化の進行により、スポーツ少年団や運動部活動の存続が危ぶまれるなか、市、学校、スポーツ団体、流通経済大学などが連携を図りながら、学校体育をはじめ放課後や地域における児童・生徒のスポーツ活動の充実を図るための取組が必要となっています。

龍ヶ崎市スポーツ推進計画進行管理一覧表

平成28年度実施内容・今後の課題・平成29年度の計画

～誰もが健康で楽しめる

生涯スポーツ社会の実現～

龍ヶ崎市教育委員会 スポーツ・国体推進課

第4章 スポーツ振興施策の展開

第1節 地域におけるスポーツ機会の充実

1 スポーツ指導者の養成・確保					計画書(P52)
施策の展開	担当課 主な担当G		平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	① 競技スポーツや健康増進等、幅広い世代のニーズに対応した指導者の育成システムを構築します。	スポーツ・国体推進課			
② 市独自の「公認スポーツ指導者制度」を制定します。	スポーツ・国体推進課	スポーツ都市推進G	<p>市内6中学校へ部活動の指導者派遣についてアンケート調査を行い、要請のあった学校へ指導者を派遣しました。(派遣6校, 5競技, 指導者6名, 派遣延べ日数170日)</p>	<p>部活動指導者の中には無償のボランティアの方もいます。各学校の部活動指導者について状況を確認し、より学校の意向に沿うよう進めていきます。</p>	<p>スポーツ指導者バンクへの新たな登録者を求め、さらなる拡充を図りながら、制度の充実を目指します。</p>
2 スポーツ組織の育成・充実					計画書(P53)
(ア)スポーツ少年団活動への支援					計画書(P54)
施策の展開	担当課 主な担当G		平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	① スポーツ少年団の連携を支援します。	スポーツ・国体推進課			
② スポーツ少年団のスポーツ交流活動を推進します。	スポーツ・国体推進課	スポーツ都市推進G	<p>「市民スポーツフェスティバル」で行った6種目の競技について、施設の優先利用を行いました。また、3月5日に「スポーツ少年団交流会」を開催し、少年団同士の交流と親睦を深めました。交流大会の参加者は346人でした。</p>	<p>これからも継続して、施設の優先利用や利用料の援助を行っていきます。</p>	<p>公共スポーツ施設の優先利用をはじめとして、交流活動の場を提供するとともに、スポーツ少年団本部に対する交付金などの充実を図ります。</p>
③ スポーツ少年団の支援体制の強化を図ります。	スポーツ・国体推進課	スポーツ都市推進G	<p>全国大会・関東大会に出場する少年団へのスポーツ大会出場補助金の交付(5件 150,000円)や各種大会出場に伴うバスの借上げ(14件1,148,155円)を行うことで団体の負担を軽減しました。また、各小学校へ団員募集のチラシの配布を依頼しました。</p>	<p>今後も、全国大会出場者への激励金の交付及び大会出場時のバスの借上げの援助を継続していくとともに団員募集の支援をしていきます。</p>	<p>全国大会等に出場する際のスポーツ大会出場激励金の交付や大会時のバスの借上げ及び本部交流大会時における指導者の表彰制度を支援します。</p>

(イ)スポーツ推進委員の充実

計画書(P54)

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① ニュースポーツの研究、情報提供や活動機会の拡大に関する事業を支援します。	スポーツ・国体推進課	県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会(2月25日 守谷市)や女性スポーツ推進委員研修会(3月18日 龍ヶ崎市)への参加などを通して知識を広め、委員としての活動機会を拡充しました。	これからも研修会等には積極的に参加し知識を広め、近隣市町村との交流を深めながら市民の興味を引くことができるニュースポーツの紹介・PRを検討していく必要があります。	県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会や女性スポーツ推進委員研修会などへの参加を通じてニュースポーツの研究を行い、情報提供を推進し、推進委員としての活動機会の拡充に努めます。
	スポーツ都市推進G			
② スポーツ推進委員の役割と体制について見直しを図り、地域スポーツの振興を図ります。	スポーツ・国体推進課	6月19日にヘルシーボール大会を開催しました。(参加者14チーム、111名) また、11月28日にニュースポーツ体験教室(ヘルシーボール・ユニカール・スポーツ吹矢・ソフトバドミントン)を開催しました。(参加者30名)	市域全体を対象とした大会等の開催と併せ、モデル的な地域での教室等の開催を目指していく必要があります。	ニュースポーツの研究、普及等の事業を実施していく中で、地域の実情に応じた見直しを図ります。
	スポーツ都市推進G			
③ 多様なスポーツニーズに対応するため、指導者としての知識や技術の習得を図るとともに、県などが開催する研修会へ参加し、個々の資質向上を図ります。	スポーツ・国体推進課	2月に県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会が行われミニハレーボールの実技研修に参加しました。(守谷市) また、3月には県女性スポーツ推進委員研修会が龍ヶ崎市で開催されヘルシーボールの実技研修を行いました。(参加者約180名)	これからも、県等の各種講習会や研修会の参加を通じて、委員個々の資質向上を図ります。	生涯スポーツ社会推進のため、各種講習会等に参加する機会を充実させることにより、個々の指導者が資質向上するよう支援します。
	スポーツ都市推進G			

(ウ)スポーツボランティアの育成・活動

計画書(P56)

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① スポーツ団体等が必要に応じて活用できるように、「スポーツボランティア登録制度」を制定します。	スポーツ・国体推進課	流通経済大学他、各スポーツ団体に各イベント情報を提供し、ボランティアの機会を増やしました。	各種のスポーツ事業にスポーツボランティアが活躍できるようにしていきます。特に、国民体育大会等の開催時には、ボランティアの役割は高まります。	スポーツボランティアに関する他自治体の事例を調査・研究するとともに、登録制度について関係機関との協議を行います。
	スポーツ都市推進G			
② スポーツ団体や地域団体等の連携により、スポーツボランティア活動を促進します。	スポーツ・国体推進課	中学校駅伝競走大会やスポレクまつりなどで、各スポーツ団体、流通経済大学の部活動の学生ばかりでなく、ゼミ単位での学生の参加もあり、学生ボランティアに協力いただきました。	これからも、多くのボランティアに協力いただけるよう、各種イベントの情報を提供していきます。	市民の多様なスポーツ活動を支援する視点から、各種イベント時におけるボランティア活動の情報を積極的に提供します。
	スポーツ都市推進G			
③ スポーツ教室などを通じ、スポーツボランティアに対し研修を実施します。	スポーツ・国体推進課	3月18日、体育協会主催による指導者講習会を開催しました。流通経済大学の教授等による講義形式の講習会で最新の知識を学んでもらいました。(参加者25名)	今後も、継続して講習会を開催し、スポーツボランティアの知識や意識を向上させていきます。	各種講習会等への参加を募ることにより、スポーツボランティアとしての知識並びに意識の啓発を推進します。
	スポーツ都市推進G			

3 総合型地域スポーツクラブの設立支援					計画書(P57)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 活動中の総合型クラブに対し、さらなる事業の拡大と、より地域に根ざしたクラブとなるよう、運営・活動を支援します。また、これから創設しようとする団体への支援も行います。	スポーツ・国体推進課	平成22年度に設立した総合型地域スポーツクラブNPO法人クラブ・ドラゴンズのクラブ会員数は455人です。クラブ活動に対する広報掲載や市内小中学校へのパンフレット配布など募集活動の支援を行いました。	クラブの認知度を高めるとともに、活動内容を増やし、幅広い年齢層が活動できるようにしていくとともに活動場所の確保についても検討していく必要があります。	すべての世代の方々が、公共スポーツ施設などを活用しながら、生涯を通してスポーツに親しめる環境づくりが行えるよう援助、支援します。	
	スポーツ都市推進G				
② スポーツクラブマネージャーやスポーツコーディネーターの育成を支援します。	スポーツ・国体推進課	日頃よりクラブマネージャーとの連絡を密にして、情報交換を行いました。また、市主催のスポーツ関係事業についても情報を提供し、協力をいただきました。	これからも、クラブの運営等についてクラブマネージャーと密に連絡を取り合い支援していきます。	市民の主体的な運営が基本となることから、経営能力を有する専門的な人材の確保、地域の調整役の確保に向けた支援に努めます。	
	スポーツ都市推進G				
4 スポーツ関連情報の提供					計画書(P58)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① スポーツ指導者、スポーツ団体に関する情報を提供するシステムの整備を進めます。	スポーツ・国体推進課	スポーツ少年団本部加盟競技団体の情報を市広報紙・市HPに掲載し、各小学校にチラシを配布しました。また体育協会加盟競技団体及びレクリエーション協会加盟団体の概要等を市広報誌・市HPに掲載し、市民への情報提供を行いました。	市民が求める各競技団体の情報を市HPに掲載できるよう努めていきます。また、掲載する内容についても、読み手が分かりやすいよう検討します。広報・HP掲載団体の数を増やしていくように働きかけます。	誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツに関する情報が容易に入手できる環境の整備に努めます。	
	スポーツ都市推進G				
② 市の広報紙やホームページなどを活用した情報提供を進めます。	スポーツ・国体推進課	スポ・レクまつり等スポーツイベントの開催は、市公式ホームページ、SNSや地域情報紙、新聞折込チラシなどを活用して情報提供を行い、参加者の拡大に努めました。	今後も、幅広く情報を提供するための方法を検討していきます。	ホームページ・ポスター・チラシなど情報提供ツールの拡大・見直しを行い、幅広く情報の提供を行います。特にSNSは瞬時に多くの方に情報を提供できるので積極的に活用していきます。	
	スポーツ都市推進G				
③ 公共スポーツ施設のほか、学校施設や民間施設など、活動情報提供の一元化を図ります。	スポーツ・国体推進課	市公式ホームページに指定管理者独自のHPのリンクを貼るとともに、市広報紙には、毎月の総合運動公園のイベントスケジュールや各種スポーツ教室等の募集情報などを掲載しました。	引き続き、各種情報発信媒体を活用し、分かりやすいスポーツ施設情報の発信に努めます。	スポーツ施設などに関する、地域に密着した情報の積極的な提供に努めます。	
	スポーツ都市推進G				

5 イベント・教室等のプログラムの充実					計画書(P60)
(ア) 高齢者スポーツの環境整備					計画書(P60)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 高齢者が望むスポーツ教室・大会等のアンケート調査を行い、よりニーズに即したものとし、参加者の増加を図ります。	スポーツ・国体推進課 スポーツ都市推進G	たつのこアリーナでは高齢者向け健康教室及びプールでのウォーキング教室を行いました。(参加者延人17,242名) また、11月にはスポーツ推進委員の指導のもとニュースポーツ体験教室を開催しました。	今後も、高齢者が参加しやすいイベント開催に努めます。	ニュースポーツの普及を目的としたニュースポーツ体験教室やウォーキング大会を開催します。	
② 高齢者が楽しく参加できるメニューを取り入れながら、運動機能の維持・向上と生きがいづくりに向けた講座を開催します。	高齢福祉課 地域包括支援センター	流通経済大学スポーツ健康科学部の協力を得て、健康ウォーキング講座を開催しました。前期(4回コース・参加者延べ107名)、後期(4回コース・参加者延べ82名)と2クール開催しました。	さらなる啓発機会を年間を通じて設ける必要があります。	引き続き流通経済大学と連携し、「てくてくロード」を積極的に活用したウォーキング講座を開催します。	
③ 関係機関と連携しながら、シルバーリハビリ体操指導士養成講習会を開催し、シルバーリハビリ体操の普及に努めます。	高齢福祉課 地域包括支援センター	出前講座を積極的に実施しシルバーリハビリ体操の啓発に努めました。1級指導士4名を養成後、3級指導士養成講座を主催し、新たに7名の指導士が誕生しました。75名の指導士が49会場で体操の普及を行っています。延べ参加者数は21,881人です。	自主活動の拡大に伴う会場及び担い手の確保や出前講座等の啓発機会の拡大に努めます。	出前講座等を利用した啓発機会の拡大に努めながら、指導士育成も引き続き進めていきます。	
④ 競技スポーツのマスター部門の創設など、高齢者のスポーツを推進します。	スポーツ・国体推進課 スポーツ都市推進G	ゲートボール連合会の全国選抜大会出場や水泳のねりんピック大会出場などシニア層の活躍に補助金の交付や表彰等を行いました。	今後も、シニア層のスポーツの支援やマスターズが活躍できる場の確保に努めます。	シニア層のスポーツ大会出場の支援や流通経済大学の陸上部が主催している陸上記録会においてマスターズ部門を設けるなどスポーツを行える機会の提供に努めます。	
(イ) 障がい者スポーツの環境整備					計画書(P61)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 公共スポーツ施設のバリアフリー化を推進します。	スポーツ・国体推進課 スポーツ都市推進G	たつのこアリーナのエレベーターの点検を適宜行うとともにバッテリーを交換するなど適切な管理に努めました。老眼鏡の設置・耳マークの表示・盲導犬支援ポスターの掲示をしています。	今後も利用しやすい環境整備に努めます。	誰もが気軽に利用できるコミュニケーションの場であることから、改修工事を行う際は、高齢者や障がい者の視点にたった整備に努めます。	
② 障がい者のスポーツ参加のため、積極的に施設の開放を促進し、大会開催を支援します。	指導課	市内小中学校の特別支援学級と県立美浦特別支援学校との交流会がたつのこアリーナで実施されました(6月15日)。簡単なゲームや体を動かす活動を通して楽しく充実した交流を深める機会となりました。	今後とも、障がい者のスポーツ参加とスポーツ交流の実現に向けて、各関係機関と連携しながら支援に努めていきます。	市内小中学校特別支援学級児童・生徒の交流会の開催を引き続き支援して行きます。	

<p>③ 市民スポーツ・レクリエーションまつりをより充実させる中で、障がい者が参加できる競技種目を確保します。</p>	<p>スポーツ・国体推進課 スポーツ都市推進G</p>	<p>輪投げや ディスゲッター9 弓道など誰もが楽しく参加できる種目を実施するよう努めています。</p>	<p>今後とも、障がい者のスポーツ参加に向けて、各関係機関と連携しながら実施種目を検討していきます。</p>	<p>スポーツレクリエーションまつりは、スポーツとレクリエーションのおまつりであり、誰もが楽しく参加できる種目を用意します。</p>
<p>④ 障がい者スポーツ大会への参加などを通して、障がい者スポーツへの関心を高めます。</p>	<p>社会福祉課 障がい者支援G</p>	<p>県民の心身障がい者児に対する理解と認識を深めるため「第18回茨城県ゆうあいスポーツ大会」が笠松運動公園等で5月22日・29日に開催され、競技種目は8種目でした。(参加者:競技21名) また、健康の維持、残存機能の回復を目的に「第54回茨城県身体障害者スポーツ大会」が9月20日に開催され、競技種目は11種目でした。(参加者18名)</p>	<p>パラリンピックの開催決定により障がい者スポーツが注目される一方、本市においては出場選手の固定・高齢化の傾向が顕著となっています。各種大会においては、出場選手の募集はもとより、支援にあたる障がい者団体や障がい者支援施設等への働きかけも必要です。</p>	<p>広報紙・ホームページ等により各種大会についての情報提供を行う外、障がい者団体や障がい者支援施設等への働きかけを実施します。</p>

第2節 学校体育・スポーツ活動の充実

1 体育指導の充実 計画書(P62)				
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 龍ヶ崎市学校教育指導方針に沿った体力づくりの努力目標達成に向け、流通経済大学生による体育授業サポート等(龍・流連携事業)を促進します	指導課	小学校の体育の授業では、陸上競技、水泳学習、ボール運動、体力づくりなどの学習支援を頂いております。中学校では、柔道、ダンスなどで学習支援のサポートを頂きました。	学校のニーズに合う運動種目の選定と流通経済大学の人材確保(学生)が課題です。また、本事業を有効活用するための小中学校間での活用事例などの情報交換に努めます。	流通経済大学スポーツ健康科学部の学生が、補助者として体育授業や体育関連の行事、部活動支援に参加することを支援します。
② 学校体育の充実を図るため、地域のスポーツ施設を活用します。	指導課	市小学校陸上記録会(5月18日)、市中学校総合体育大会(6月17日～18日)、市中学校新人体育大会(9月23日～9月24日)、プール学習(小学校5校、中学校2校)をたつのこアリーナ、たつのこフィールド、たつのこスタジアムを会場に実施しました。	各大会、プール学習における日程調整や実施期日、児童生徒の移動方法(予算・移動時間)に課題があります。	学校体育の場として、総合体育館(たつのこアリーナ)、陸上競技場(たつのこフィールド)及び野球場(たつのこスタジアム)の積極的な活用に努めます。
2 児童・生徒の体力・運動能力の向上 計画書(P63)				
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 子どもの体力向上のために、安全に思い切って体を動かすことができる場を確保します。	施設整備課 公園緑地G	定期的に施設点検を行い、修繕などを実施するとともに、計画に基づく除草や樹木剪定・伐採、園内清掃、さらに遊具更新やトイレ・四阿の屋根の修繕、龍ヶ岡公園のステージや親水施設の改修を実施しました。	公園施設長寿命化計画(改築・更新計画)に基づき、計画的に事業を進めていくことが重要です。	子どもが良好な環境のもとで気軽に運動できるよう、公園の適切な維持管理に努めます。
② 学校や地域の実態等に応じて屋外運動場の芝生化を推進します。	教育総務課 学務G	芝刈りをこまめに実施することで、集草作業の負担が軽減できました。また、芝生の適正管理を行う上での課題であった特殊車両を使用したエアレーションは、業務委託費を予算化し実施することが出来ました。	芝生を適切に管理するためには、芝刈りや夏場の毎日の散水作業に時間や人手、特殊車両を使用した管理作業に経費がかかることから、多くの問題点を解消、軽減できる手法を考える必要があります。	引き続き、馴染小学校の屋外運動場を適切に管理することで、児童の体力向上を図るとともに、たつのこフィールドを活用した学校体育を実施します。
③ 流通経済大学の協力を得て、専門的視点から最適なプログラムを構築し、子ども自らが意欲的に進めることができる健康な身体づくりを促進します。	指導課	小学校においては、体力の向上と運動の技能の習得に向けた水泳や陸上競技、ラグビーなどの実技指導や支援を頂きました。また、休み時間における児童との外遊びを通して、日常生活における運動量の確保に取り組むことができました。	教員と学生の打合せ時間の確保、調整が必要です。支援内容や種目によっては学校のニーズと合わない等の課題は少なくなってきました。龍流連携事業が単位制や実習に切り替えられており、今後の一層の充実が期待できます。	流通経済大学の協力のもと、小学生においては運動技能の向上をめざす支援と外遊びの時間を利用した運動能力向上、中学生では部活動への支援、運動技術の向上に向けた取組を継続して行います。

3 運動部活動の活性化					計画書(P64)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 学校の実態等に応じて複数校合同で活動が柔軟に実施できる場を創設します。	スポーツ・国体推進課	各中学校の部活動に対し、5月にアンケート調査を実施し、スポーツ指導者バンクの登録指導者を派遣し、指導の充実に努めました。(指導者6名を派遣)	子供たちのニーズに即した教室を広域的に実施できないか検討します。運動部活動の他、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの相互連携が求められます。	各小中学校の実態を把握し、児童・生徒がスポーツに親しめる環境づくりに努めます。	
	スポーツ都市推進G				
② スポーツ指導者バンクの制度を広くPRし、専門知識や技能を有する指導者の登録を増やし、あらゆる要望に応えられることを目指します。	スポーツ・国体推進課	スポーツ指導者バンクには、13種目、29名が登録されています。	指導者バンクを充実(登録者数・種目数の増)させることにより、活動範囲の拡大についても検討します。	体育協会や流通経済大学などと連携し、また日本体育協会公認スポーツ指導員の登録者を参考にしながら登録者数と種目数の増加に努めます。	
	スポーツ都市推進G				
③ 県大会出場時における市バスの利用など、支援体制を強化します。	教育総務課	部活動大会出場補助金として、中学校6校に対し、計4,350,000円を交付しました。また、選手の関東大会及び県大会出場に当たっては、借上げバスによる交通支援を行いました。(関東大会4回、県大会34回)	部活動の大会出場にかかる経費に対し、引き続き補助を行っていきます。	本市を代表して、中学校部活動が各種大会へ出場する際に支援を行います。	
	学務G				
4 地域と連携した児童・生徒のスポーツ活動の推進					計画書(P65)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 流通経済大学の協力のもと、児童・生徒の多様なスポーツ活動を支援します。	指導課	学校体育等でのサポート時に専門的な視点でのアドバイス、模範演技、さらには個に応じた支援を頂いています。また、運動の楽しさについても活動を通して教えて頂きました。	大学関係者を中心として地域人材の活用に向けて事業への取組において積極的な連携が取れる体制の強化を図っていきます。	スポーツへの関心や動機づけを図るとともに、個々の能力を十分に発揮させるため流通経済大学と連携を図った授業や学校行事を推進します。	
② 地域との緊密な連携を図り、子ども達が気軽に遊びやスポーツに親しむ場を提供します。	生涯学習課	たつのこやま管理棟において、NPO法人等への委託などにより毎週、月・木・土・日曜日に「子どもの居場所づくり事業」を実施した。利用者の子どもたちは、卓球で汗を流したりして有意義な時間を過ごしている。	たつのこやまに大型遊具が完成したことで、利用者が急増しており、利用者によるおもちゃ・ゲーム等の散乱、持ち出しなどの問題も生じていることから、利用者への管理指導及びマネーの徹底などが必要と思われる。	NPO法人、地域団体等の協力を得ながら、「子どもの居場所づくり事業」を継続し、子どもたちが安全・安心して遊びや運動ができる「場」の提供を行う。	
	青少年育成G				

第3節 競技スポーツ力の向上

1 スポーツ指導者の指導力向上					計画書(P66)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 優れた指導者を養成するために、スポーツアドバイザーを確保します。	スポーツ・国体推進課	体育協会主催の技術講習会(11月に野球協会)や講義形式による指導者講習会(3月18日 講師:流通経済大学教授他)などの事業を通じて指導者としての資質向上に努めました。	今後も、魅力的な講習会等を企画して参加者の増加に努め、指導者の強化に努めていきます。	公認スポーツ指導者が中心となり、競技スポーツ指導者を強化することを基本に、養成・資質の向上に努めます。	
	スポーツ都市推進G				
② 競技スポーツ強化の拠点となる場の確保と設備の充実を図ります。	スポーツ・国体推進課	たつのこフィールドに照明塔・バックスタンドを整備し、走路の一部改修等を行い第3種公認陸上競技場の継続を行いました。また、スタジアムにおいては、内野グラウンドの改修を行い、排水性の改善を図りました。	総合運動公園がスポーツの拠点となるよう、高いレベルでの充実を図ります。	公共スポーツ施設の設備ニーズに対応するため、競技力の向上に寄与できる機能を備えた施設設備の整備に努めます。 たつのこフィールドバックスタンド近くにトイレを増設します。また、写真判定機を更新します。	
	スポーツ都市推進G				
③ 流通経済大学の協力のもと、スポーツ医・科学に関するセミナーを開催します。	スポーツ・国体推進課	講義形式による指導者講習会を3月18日に開催しました。(講師:流通経済大学教授他5名)	救急救命講習会以外でも幅広い分野でのセミナー、講習会の開催を図ります。	流通経済大学との連携により、スポーツドクター・トレーナー等の有資格者が指導する場の提供に努めます。	
	スポーツ都市推進G				
2 スポーツ関連組織の強化					計画書(P67)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 競技スポーツ選手を育成・強化するため、競技団体の活動を支援します。	スポーツ・国体推進課	体育協会各部のヒアリング時に「市民スポーツフェスティバル」への参加協力を求めました。 また、各団体のスポーツ教室・大会開催時には助成金を支出し活動の支援をしました。	スポーツフェスティバルに不参加の団体にも参加を呼びかけ、理解を求めていきます。	「市民スポーツフェスティバル」等を通し、関連組織の活性化などが図れる仕組みづくりを検討します。	
	スポーツ都市推進G				
② 人材の育成・確保等により、組織の強化を図ります。	スポーツ・国体推進課	体育協会各部ヒアリングにおいて、体育協会役員とともに各部の状況を伺いました。また、市HPや市広報紙での体育協会各部やスポーツ少年団・レクリエーション協会の紹介や会(団)員募集記事を掲載しました。	引き続き、各種ホームページや広報紙でのPR活動を行い、各団体の支援していきます。	会(団)員の減少や高齢化により組織力が低下していることから、各種団体の自立に向けた、様々な支援を展開していきます。	
	スポーツ都市推進G				
③ スポーツイベント等を通して、各組織間の連携を密にすることで、組織の活性化を図ります。	スポーツ・国体推進課	スポーツレクリエーションまつりは、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員による実行委員を組織し、各組織間の連携を図りながら実施しました。	イベント等を通じ、各団体の連携を強化し組織の活性化を図ります。	体育協会が主体となり各種団体と協力体制のもと実施している、「市民スポーツ・レクリエーションまつり」の一層の充実に努めます。	
	スポーツ都市推進G				

3 一貫指導システムの推進

計画書(P68)

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① トップレベルの競技者を組織的・計画的に育成するため、ジュニア期から良質の環境の中での指導など、一貫指導システムを支援します。	スポーツ・国体推進課	総合型地域スポーツクラブの中で個人の趣向や能力に応じたプログラムが選択できるよう、単に種目の増加だけでなく、選手養成コースも開設されました。	総合型地域スポーツクラブだけではなく、スポーツ少年団や各学校と連携を取りながら、幅広い選択肢を作っていきます。	一貫した指導方針のもとで選手の育成・強化を図るとともに、発達過程に応じた適切なクラス分け(初級, 中級, 上級)を実施することにより、優秀な選手の育成を支援します。
	スポーツ都市推進G			
② 選手として適性のある者の早期発掘と継続的な育成のため、体育協会、各競技団体などの相互の緊密な連携のためのシステムをつくります。	スポーツ・国体推進課	「市民スポーツフェスティバル」及び体育協会各部の大会等を通じ、各団体の交流を深め、連携を深めました。	「市民スポーツフェスティバル」以外にも各団体が参加し交流が図れるイベントなどを企画し、体育協会他、各団体との連携の強化に努めます。	各種団体の緊密な連携のもと、優秀な逸材を発見し、育成できる仕組みづくりの構築に努めます。
	スポーツ都市推進G			
③ 優秀な指導者が市内へ定着するよう、活動環境の充実を図ります。	スポーツ・国体推進課	流通経済大学の協力を得ながらスポーツ教室等を開催することにより、同大学の学生が市内に指導者として活躍できる場を提供しました。	今後も、優秀な指導者が市内に定着するように、魅力ある教室など活躍できる場を検討します。	付帯設備の充実をはじめとした環境に配慮することで、流通経済大学の学生指導者が卒業後においても、引き続き市内に定着できることを目指します。
	スポーツ都市推進G			

4 トップアスリートの技術に触れる機会の充実

計画書(P69)

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① トップアスリートとの交流を図り、多くの市民が感動を共有したり、スポーツへの関心を高める機会を提供します。	スポーツ・国体推進課	流通経済大学柔道部がキューバ柔道ナショナルチームと合同合宿を行い、柔道スポーツ少年団との交流を図りました。 また、中国WBCナショナルチームがたつのこスタジアムで練習を行い、小中学校野球部及び野球スポーツ少年団との交流を図りました。	今後も、市民がトップアスリートと触れる機会の拡大に努めます。	海外の代表選手の合宿を誘致し市民との交流を図ることや、元プロ選手等を招致しての教室を開催するなど、スポーツの魅力を広める場の提供に努めます。
	スポーツ都市推進G			
② 市民がトップレベルのスポーツを見て楽しむとともに、スポーツへの関心を高めるような大会開催を促進します。	スポーツ・国体推進課	たつのこフィールドではJFL、関東大学サッカーリーグ戦、関東大学ラグビーリーグ戦を開催しました。また、たつのこスタジアムでは、東京新大学野球連盟リーグ戦と高校野球の春季・秋季県南地区大会を開催しました。	今後もレベルの高い各種大会を開催できるように、主催者側に働きかけを行っていきます。	みるスポーツの魅力を高めるため総合運動公園の機能を活用して、各種大会(サッカー・ラグビー・野球・陸上競技)等の招致に努めます。また、新たにナイターでのJFLの試合も開催します。その他、国体に向け柔道競技の大会を誘致します。
	スポーツ都市推進G			
③ 高いレベルの大会が開催可能なスポーツ施設、設備の充実等に努めます。	スポーツ・国体推進課	たつのこフィールドに照明塔・バックスタンドを整備し、走路の一部改修等を行い第3種公認陸上競技場の継続を行いました。また、スタジアムにおいては、内野グラウンドの改修を行い、排水性の改善を図りました。	今後も、高いレベルの大会が開催できるよう、施設の整備等に努めます。	たつのこフィールドにトイレの増築をし、施設の整備を図ります。また、スタジアムの外野グラウンドの改修を行い、排水性の更なる改善を図ります。
	スポーツ都市推進G			
④ 茨城国体の開催に向けた準備を整えます。	スポーツ・国体推進課	いきいき茨城ゆめ国体第1回総会を開催し4つの専門部会を設立しました。 また、群馬県で行われた関東ブロック大会やいわて国体の柔道競技の視察を行いました。	各県の代表選手を市民全体で迎える準備を進めます。	茨城県柔道連盟や茨城県国体・障害者スポーツ大会局と調整をしながら、準備を進めます。また、柔道競技の大会を誘致します。 ポスター・横断幕・のぼり旗等を掲示し市民への啓発を促します。
	スポーツ都市推進G			

第4節 スポーツ施設の整備・充実と有効活用

1 利用しやすいスポーツ施設の運営 計画書(P70)				
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 利用者の視点に立ったスポーツ施設の運営を図ります。	スポーツ・国体推進課	たつのごアリーナでは、各種教室(1回単位で参加できる教室、10回コース型教室、無料教室)を開催しました。また、幼児向けの親子で参加できる教室から高齢者向けの健康教室まで各年代にあった教室を開催しました。	今後も、定期的にアンケート等を実施し利用者のニーズを把握して、適切な対応をしていきます。	施設利用ニーズに応えるため、各種講座を導入しています。さらなるニーズを把握し、適切な対応に努めます。
	スポーツ都市推進G			
② 指定管理者と連携・監督指導しながら、利用しやすい施設管理や運営に努めます。	スポーツ・国体推進課	毎月、指定管理者との定例会を開催し、利用状況等について意見の交換を実施しました。	利用しやすい施設の管理運営が図れるよう、市は指定管理者と連携するとともに適切に指導していくことが必要となります。	利用者ニーズを把握しながら、利用しやすい施設管理や運営に努めます。
	スポーツ都市推進G			
③ 中学校や高等学校、流通経済大学の運動部活動のための施設利用に努めます。	スポーツ・国体推進課	各施設において、これまでの利用実績を踏まえながら市内小・中学校体育連盟・県南高等学校体育連盟、流通経済大学などに対し、大会開催希望を事前に調査・確認し、年間の施設予約に配慮しました。	今後も、大会開催希望日を調整して年間の施設予約の調整を図っていきます。	ビックイベントの開催に対応でき、快適性や利便性を備えた公共スポーツ施設の各種大会時における優先利用をはじめとした、スポーツの場としての提供に努めます。
	スポーツ都市推進G			
2 学校施設の開放 計画書(P71)				
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として、学校体育施設の開放を推進していきます。	スポーツ・国体推進課	学校体育施設、小学校(12校)中学校(6校)の夜間開放施設の貸出しを実施しました。城ノ内中学校の体育館入口のかぎの交換をしました。	今後も、利用団体が利用しやすいように、学校と利用者の連絡調整をしていきます。	利用者から要望がありましたバレーボールの支柱・アンテナ・ネット及び得点版の購入を予定しています。
	スポーツ都市推進G			
② 学校体育施設をより使いやすくするため、運営方法の改善を検討します。	スポーツ・国体推進課	学校施設夜間開放については、市側で利用者と調整している市町村が多く見られますが、グラウンドは学校行事との調整が随時必要であるため、一括管理の導入については、課題が少なくありません。	今後も、学校体育施設の市の一括管理については、学校と協議を進めていきます。	学校施設夜間開放のニーズを把握し、適切な対応を図るとともに、学校グラウンドは、各学校で許可している状況を踏まえて、一括管理の導入の是非について検討を行います。
	スポーツ都市推進G			

3 スポーツ施設の整備・充実					計画書(P72)
(ア) 総合運動公園の整備					計画書(P72)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① たつのこアリーナ、たつのこフィールド、たつのこスタジアム等、市民のスポーツニーズに対応するため、高水準の機能・設備を備えた施設の充実を図ります。	スポーツ・国体推進課	たつのこフィールドに照明塔を整備し、走路の一部改修等を行い第3種公認陸上競技場の継続を行いました。また、スタジアムにおいては、内野グラウンドの改修を行い、排水性の改善を図りました。	競技を「する」面での整備は整いつつありますが、「みる」環境の整備や、より高いレベルの大会を開催するために必要な施設整備を進めます。		たつのこフィールドにトイレの増築をし、施設の整備を図ります。また、スタジアムの外野グラウンドの改修を行い、排水性の改善を図ります。
	スポーツ都市推進G				
② スポーツ団体や市民が情報交流・人的交流ができるよう設備・機器等を充実します。	スポーツ・国体推進課	たつのこアリーナ1階のカフェたつのこは、交流の場としても賑わっています。また、アリーナの掲示板に、スポーツ団体の募集情報を掲示しています。	今後も、子どもから高齢者、障がい者を含めた幅広い年齢層の方が利用しやすいように施設の整備に努めます。		子どもから高齢者、障がいのある者まで全ての人々(団体)が利用できる、交流の場としての機能を備えた施設の整備に努めます。
	スポーツ都市推進G				
(イ) 既存スポーツ施設の整備充実					計画書(P73)
施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画	
	主な担当G				
① 施設、設備の計画的な改修、補修及び備品の更新に努めます。	スポーツ・国体推進課	城南スポーツ公園テニスコート改修工事・高砂体育館屋根等改修工事を行いました。	今後も、施設の利用状況を見極めながら、適切な整備に努めます。		たつのこアリーナ照明のLED化・サブアリーナの天井改修工事を行います。また、龍ヶ岡公園テニスコートの改修工事を行います。
	スポーツ都市推進G				
② トイレ、更衣室、オープンルームなどのバックヤードの整備に努めます。	スポーツ・国体推進課	利用者からの意見を踏まえ、更衣室ロッカーの鍵の交換をしました。	今後も、利用者からの意見や施設の利用状況を踏まえ、適切な整備に努めます。		公共スポーツ施設の付帯設備ニーズに応え、利便性の向上に努めます。プール身障者トイレの修繕を行います。
	スポーツ都市推進G				
③ 利用者のニーズを考慮しながら、計画的に夜間照明の設置を進めます。	スポーツ・国体推進課	たつのこフィールドに照明塔(4基1000ルクス)を整備しました。	多くのスポーツ団体に利用してもらえよう、適切な対応に努めます。		たつのこフィールドの夜間照明塔が整備されたため、JFLでのナイター試合の他、ナイターを利用した新たな教室・イベントを開催します。
	スポーツ都市推進G				
④ 既存施設の維持管理から運営まで、一貫した運営の向上に努めます。	スポーツ・国体推進課	利用者のニーズに対応しながら、維持管理や運営を行いました。	今後も、利用者の立場に立った適切な運営方法を検討していきます。		利用者の立場に立った適切な運営方法を検討します。
	スポーツ都市推進G				

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 市の文化、歴史や豊かな自然を活用したウォーキングロードを設定します。	企画課	観光物産協会において、地域資源の掘り起こしや既存コースを整理し、新たな探訪モデルコースの設定など、観光モデルコースの作成に着手しました。	既存の「お散歩モデルコース」について、市民に活用していただくことはもちろんのこと、市外からの誘客が図られるよう、周知に努める必要があります。	観光物産協会が佐貫駅東口に設置する観光案内板においてウォーキングコースを紹介します。また、市民の健康増進と市外からの誘客を図るため、既存の「お散歩モデルコース」を周知します。
② 多くの市民が楽しめるよう、牛久沼や小貝川沿い等にジョギング、サイクリングロードを設定します。	交通防犯課	平成27年度に作成した自転車利用モデル案について、市民が活用しやすい内容となるよう見直し・修正を行いました。	見直し・修正を行った自転車利用モデル案について、市民への周知を図り自転車利用を促進します。	自転車利用モデル案について、市公式ホームページへ掲載し、自転車の利用を促進します。また、市広報紙等を活用し、自転車利用のメリットや自転車を利用するうえでの注意点等について広報します。
	交通政策G			

第5節 流通経済大学と連携したスポーツ施策の総合的推進

計画書(P75)

施策の展開	担当課	平成28年度の実施内容	今後の課題	平成29年度の計画
	主な担当G			
① 市民、スポーツ関連団体、大学、企業、行政等、関係機関の組織化を図り、連携協力体制を強化します。	スポーツ・国体推進課	ウォークラリー大会やスポーツ・レクリエーションまつりに際しては、流通経済大学の協力に加え、企業からの人的、金銭的な協力をいただきました。	これからも、流通経済大学及び企業等との連携・協力体制の構築に努めていきます。	本市と流通経済大学だけに留まることなく、様々な分野、団体における協力体制の構築を目指します。
	スポーツ都市推進G			
② スポーツ分野における「龍・流連携事業」を積極的に展開します。	企画課	サッカー集中応援日など流経大運動部公式戦等の情報を広く周知し、来場や応援を呼び掛けるとともに、ラグビーの応援バスツアーを実施し、大学トップレベルの試合を観戦できる機会を創出しました。また、大学運動部と協力したスポーツイベントの開催を支援しました。	より多くの方の関心を高め、各事業への参加を促進するため、大学及び各運動部との連携を強め、情報把握や工夫した周知PR等に努める必要があります。	誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向け、龍・流連携の一層の活用を推進します。 また、サッカー集中応援日やラグビーフェスタなど流経大運動部公式戦等の情報を広く周知するため、新たに佐貫駅東口前にあるデジタルサイネージ等を活用し、情報発信の充実を図ります。
	地域戦略G			
③ 地域や小中学校と連携したスポーツや健康に関する調査研究を協力・支援します。	指導課	スポーツ健康科学部の調査研究に協力し、血液検査や血管年齢、血圧測定などのデータ収集を伴うコミセンウォーキング講座を開催し、データをもとにした指導・講話により、参加者の健康増進を図りました。また、9か年間の継続研究がスタートしました。	今後、要望があれば、小・中学校を対象とした各種調査に関して、積極的な支援と協力を行っていきます。	コミュニティセンター主催のウォーキング講座の継続開催のほか、大学の要望の把握に努め、要望に応じた協力・支援に努めます。また、大学との連携による9日年間の継続研究の充実に努めます。
④ 市民の健康体操として、「どらコロ体操」の普及を推進します。	商工観光課	商業まつり「いがっぺ市」や「まいんバザール」での実演や、スポ・レクまつりの準備体操として実施し、普及に努めました。	普及活動体制を確立することが必要です。	商学連携事業の中で、どらコロ体操が誕生した経緯とともに、誰もが親しみ易い振り付けを踏まえ、その普及に努めます。
	商工統計G			